

2013年度 セキュリティ市場調査速報

調査研究部会
セキュリティ市場調査WG
発表者： 土屋 日路親
(イーロックジャパン株式会社)

2014年 1 月29日

JNSA NetworkSecurityForum2014発表

JNSA独自の調査活動

変遷:

- 2004年から継続
- 2009年まではMETIの委託事業・・・グローバル調査が入り継続を断念
- 2010年度まではアンケートベースの蓄積を利用
- 現在は、蓄積データの統計分析&キー事業所へのヒヤリングを元に調査

目的:

- セキュリティ市場とセキュリティ産業の姿を継続的に捉える
- 調査結果をJNSA会員企業のそれぞれの事業に役立ててもらおう
- WGメンバーが活動を通じ、交流し、調査の手法を学び、見識を広げる

**会員の、会員による、会員のための
JNSAセキュリティ市場調査！**

セキュリティ市場調査WG メンバーリスト



ワーキンググループリーダー

2014年1月22日現在

木城 武康

株式会社日立システムズ

ワーキンググループ活動メンバー

菅野 泰彦

アルプスシステムインテグレーション株式会社

清水 聡史

株式会社イーセクター

浜 義晃

株式会社イーセクター

兵藤 直嗣

株式会社イーセクター

土屋 日路親

イーロックジャパン株式会社

福岡 かよ子

株式会社インテック

佐々木 謙一

株式会社インテリジェントウェイブ

栗田 亮子

NTTソフトウェア株式会社

熊谷 慶一

F5ネットワークスジャパン株式会社

勝見 勉

株式会社情報経済研究所

佐藤 克彦

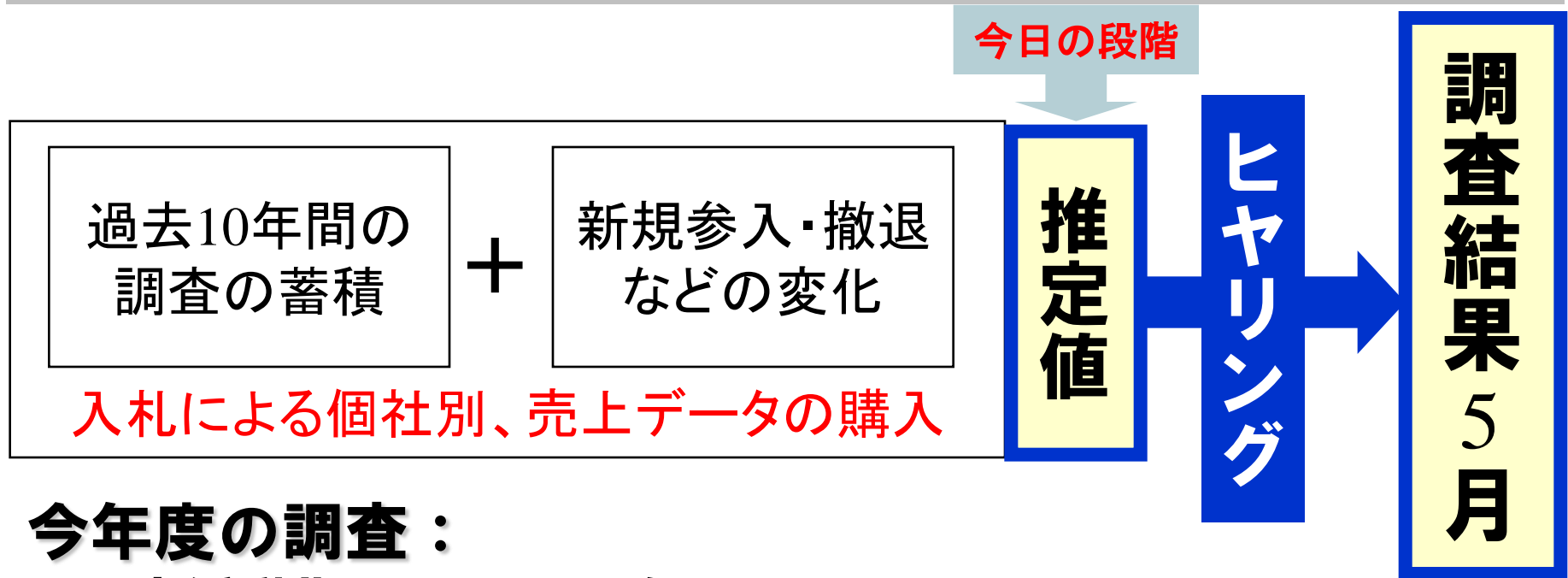
三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

安武 千尋

株式会社ユービーセキュア

蜂巢 悌史

株式会社km2y



今年度の調査：

- 調査活動期間： 2013年6月～（現在も進行中、本日は速報値）
- 調査方法：アンケート調査はしない（回収率が悪く参考にならない）
各種統計・調査資料の参照
企業の事業概要・規模推定（対象数：470社）
主要企業個別ヒアリング（実施数：20社程度を予定）
- 対象期間：2011, 2012年度実績 2013年度見込み 2014年度予測

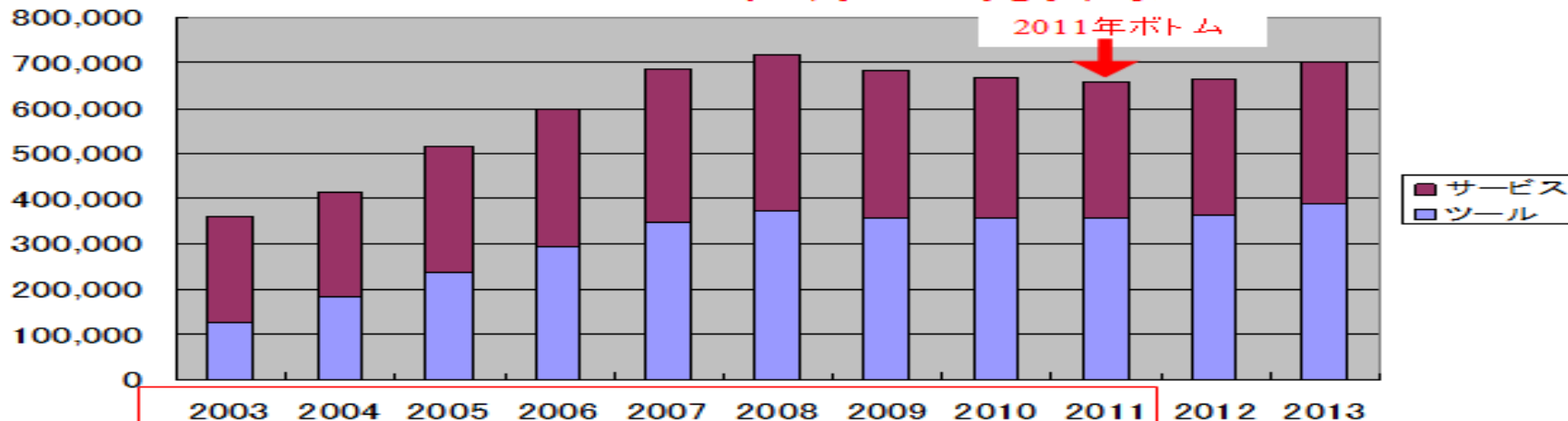
JNSAの情報セキュリティ市場調査推移



日本のセキュリティ市場(全体規模)

単位: 百万円

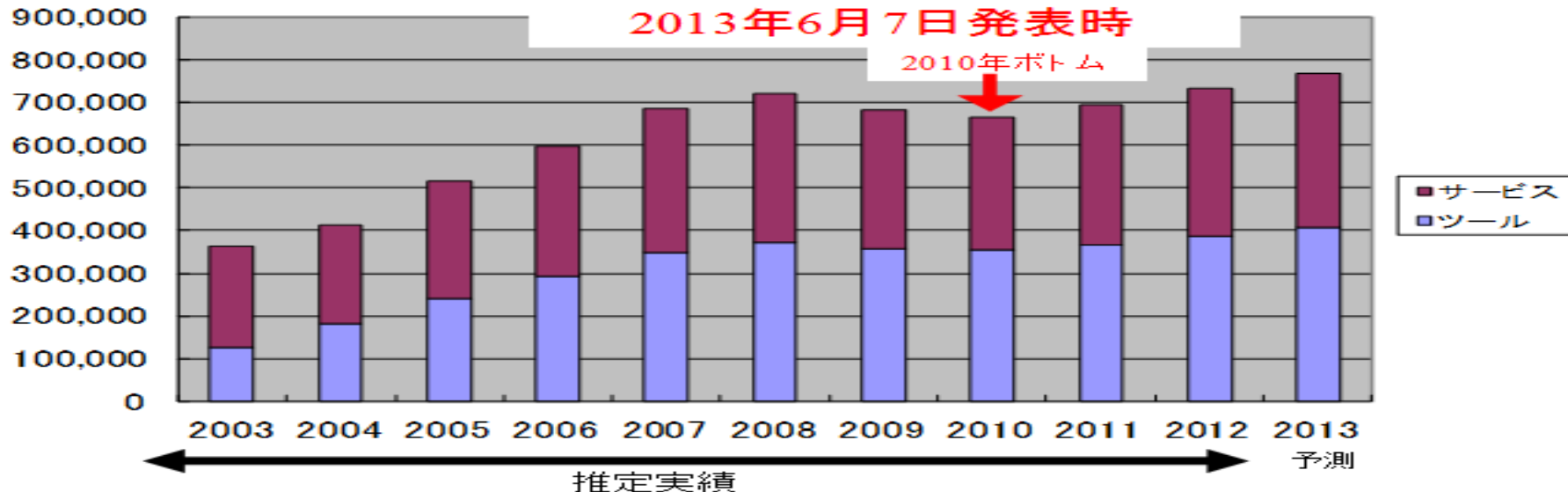
2013年1月25日発表時



日本のセキュリティ市場(全体規模)

単位: 百万円

2013年6月7日発表時



市場区分の定義

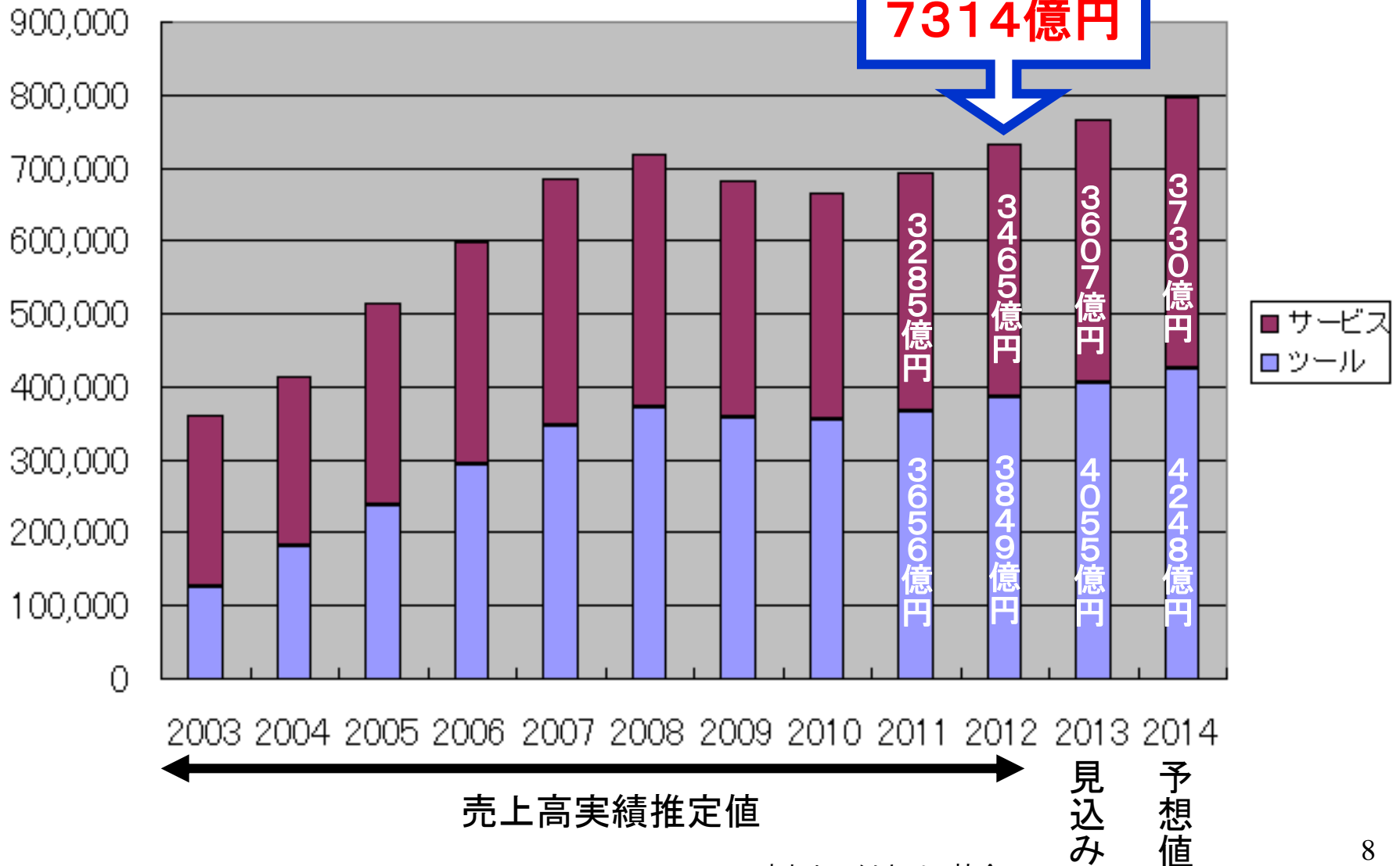


2013年度も、検討の結果、2011年度2012年度と同じになりました。

セキュリティツール	統合型アプライアンス	FW、IDS、ウイルス対策等複数機能を持ったアプライアンス
	ネットワーク脅威対策製品	FW、IDS/IPS、VPN、アプリケーションファイアウォール
	コンテンツセキュリティ対策製品	ウイルス対策、スパム対策、URLフィルタ、メールフィルタ、DLP等
	アイデンティティ・アクセス管理製品	認証、ログオン管理・アクセス許可、PKI製品
	システムセキュリティ管理製品	セキュリティ情報統合管理、ポリシー・アクティビティ管理ツール、脆弱性検査ツール 等
	暗号製品	暗号化製品、暗号モジュール
セキュリティサービス	情報セキュリティコンサルテーション	ポリシー構築、監査・診断等セキュリティ管理全般コンサルティング、規格認証取得支援サービス
	セキュアシステム構築サービス	ITセキュリティの設計、導入、製品選定支援 等
	セキュリティ運用・管理サービス	マネージドサービス(ITセキュリティの監視、運用支援)、プロフェッショナルサービス、電子認証サービス 等
	情報セキュリティ教育	教育実施、コンテンツ提供、教育ASP、資格認定 等
	情報セキュリティ保険	情報セキュリティおよびITセキュリティ保険

JNSAの情報セキュリティ市場調査推移

速報



国内情報セキュリティ市場規模の暫定値



速報

金額単位:百万円

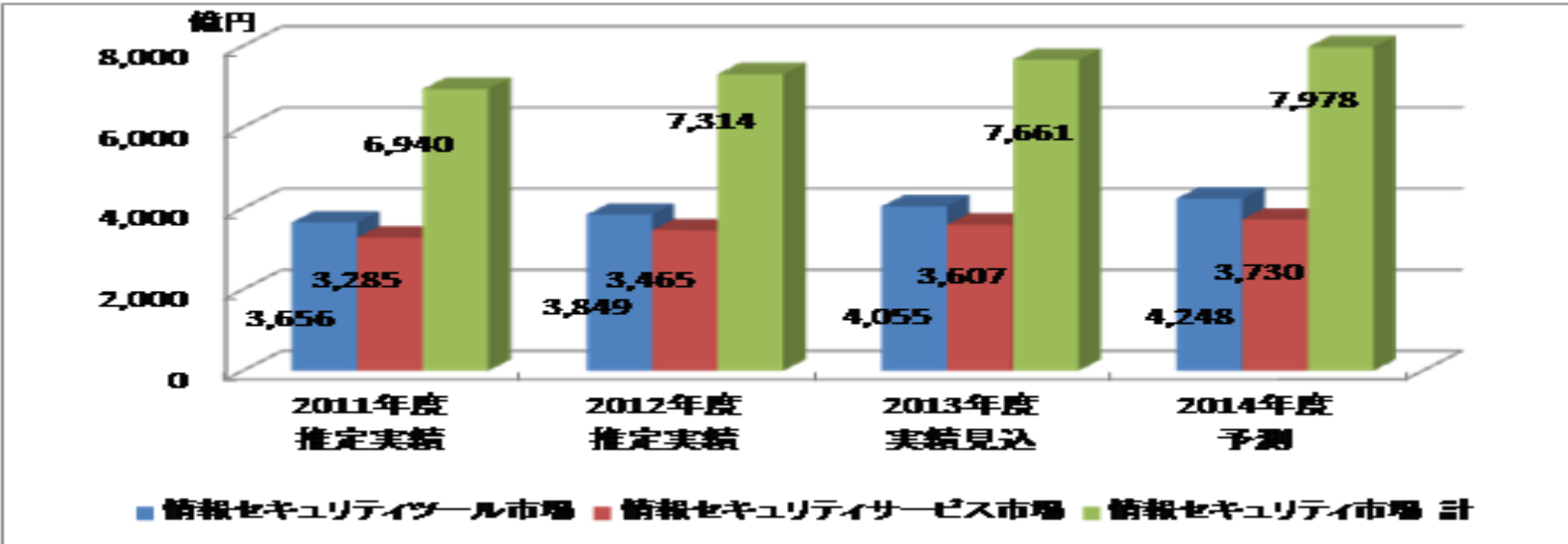
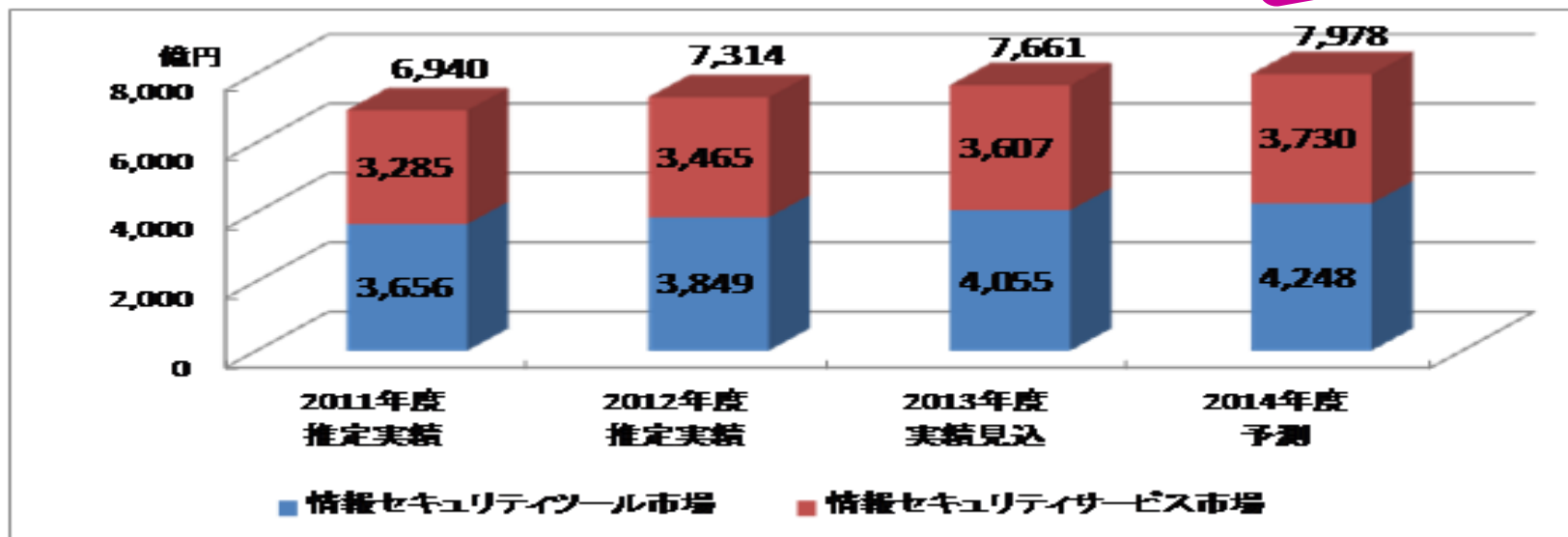
年度別売上高推計値 セキュリティツール	2011年度 売上実績推定値		2012年度 売上実績推定値			2013年度 売上高見込推定値			2014年度 売上高予測値			2011- 2014平 均伸び 率
	金額	構成比	金額	構成比	前年比 伸び率	金額	構成比	前年比 伸び率	金額	構成比	前年比 伸び率	
統合型アプライアンス	19,229	5.3%	20,120	5.2%	4.6%	21,141	5.2%	5.1%	22,203	5.2%	5.0%	4.9%
ネットワーク脅威対策製品	49,924	13.7%	52,112	13.5%	4.4%	54,122	13.3%	3.9%	56,061	13.2%	3.6%	3.9%
コンテンツセキュリティ対策製品	139,299	38.1%	147,028	38.2%	5.5%	154,964	38.2%	5.4%	162,176	38.2%	4.7%	5.2%
アイデンティティ・アクセス管理製品	65,523	17.9%	68,846	17.9%	5.1%	71,791	17.7%	4.3%	74,534	17.5%	3.8%	4.4%
システムセキュリティ管理製品	51,747	14.2%	55,108	14.3%	6.5%	58,869	14.5%	6.8%	62,620	14.7%	6.4%	6.6%
暗号化製品	39,838	10.9%	41,693	10.8%	4.7%	44,572	11.0%	6.9%	47,235	11.1%	6.0%	5.8%
セキュリティツール製品	365,562	100.0%	384,907	100.0%	5.3%	405,460	100.0%	5.3%	424,829	100.0%	4.8%	5.1%
		52.7%		52.6%			52.9%			53.2%		

年度別売上高推計値 セキュリティサービス	2011年度 売上実績推定値		2012年度 売上実績推定値			2013年度 売上高見込推定値			2014年度 売上高予測値			2011- 2014平 均伸び 率
	金額	構成比	金額	構成比	前年比 伸び率	金額	構成比	前年比 伸び率	金額	構成比	前年比 伸び率	
情報セキュリティコンサルティング	67,958	20.7%	70,165	20.3%	3.2%	72,249	20.0%	3.0%	74,250	19.9%	2.8%	3.0%
セキュアシステム構築サービス	129,395	39.4%	138,889	40.1%	7.3%	144,481	40.1%	4.0%	148,289	39.8%	2.6%	4.6%
セキュリティ運用・管理サービス	98,417	30.0%	103,189	29.8%	4.8%	108,747	30.2%	5.4%	114,397	30.7%	5.2%	5.1%
情報セキュリティ教育	25,237	7.7%	26,574	7.7%	5.3%	27,387	7.6%	3.1%	28,132	7.5%	2.7%	3.7%
情報セキュリティ保険	7,468	2.3%	7,640	2.2%	2.3%	7,799	2.2%	2.1%	7,930	2.1%	1.7%	2.0%
情報セキュリティサービス	328,475	100.0%	346,457	100.0%	5.5%	360,664	100.0%	4.1%	372,998	100.0%	3.4%	4.3%
		47.3%		47.4%			47.1%			46.8%		

セキュリティツール+サービス	694,036	100.0%	731,364	100.0%	5.4%	766,124	100.0%	4.8%	797,827	100.0%	4.1%	4.8%
----------------	---------	--------	---------	--------	------	---------	--------	------	---------	--------	------	------

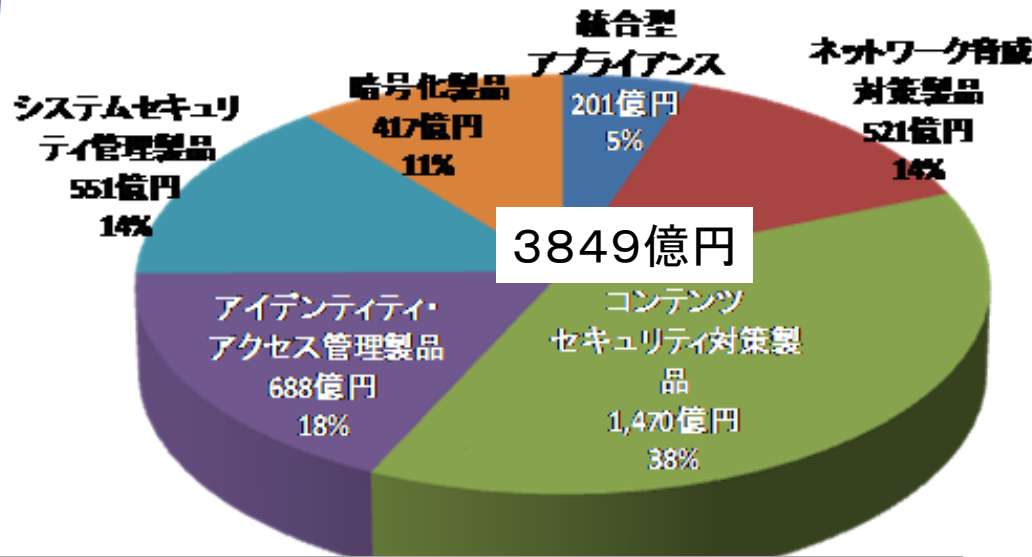
国内情報セキュリティ市場規模の暫定値

速報

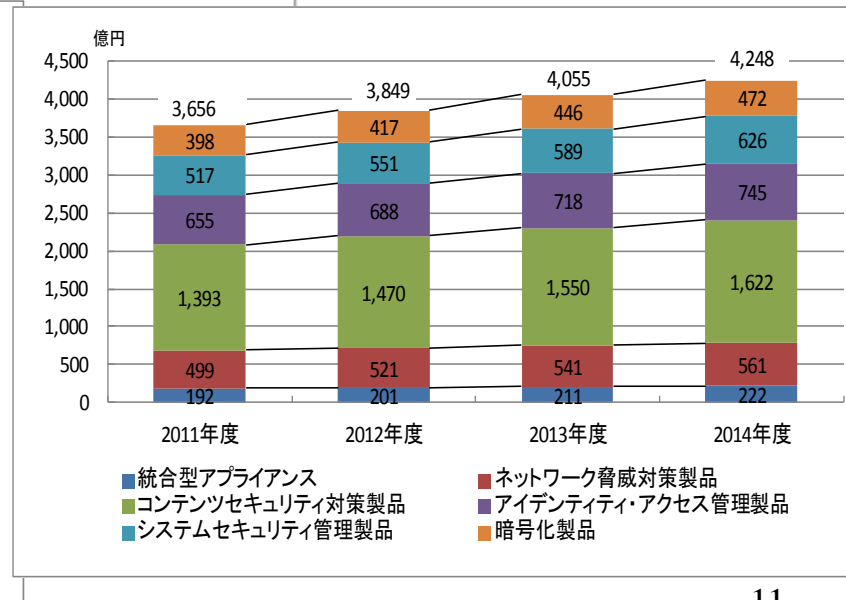
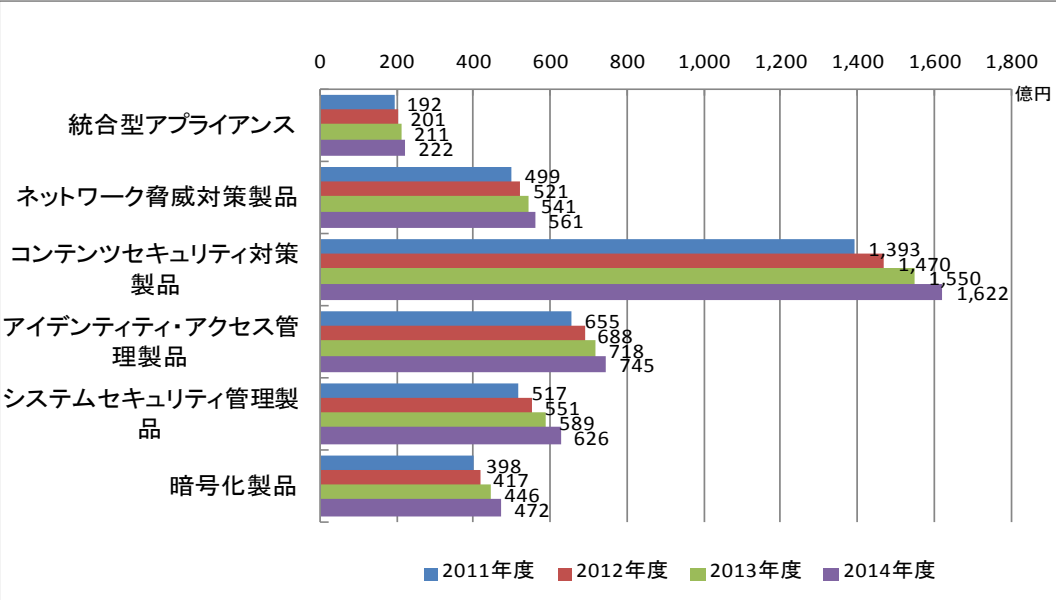


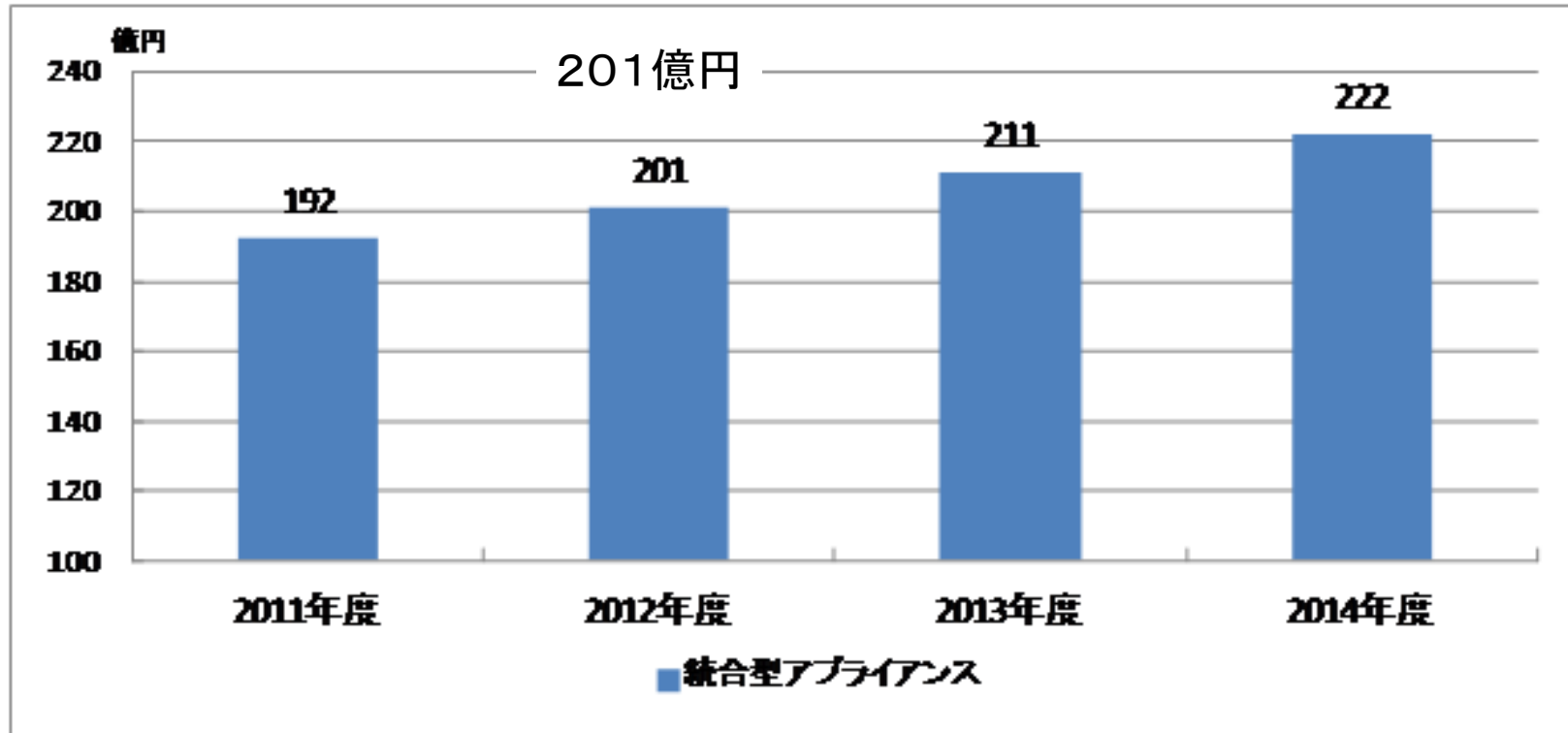
国内情報セキュリティツール市場推移

速報



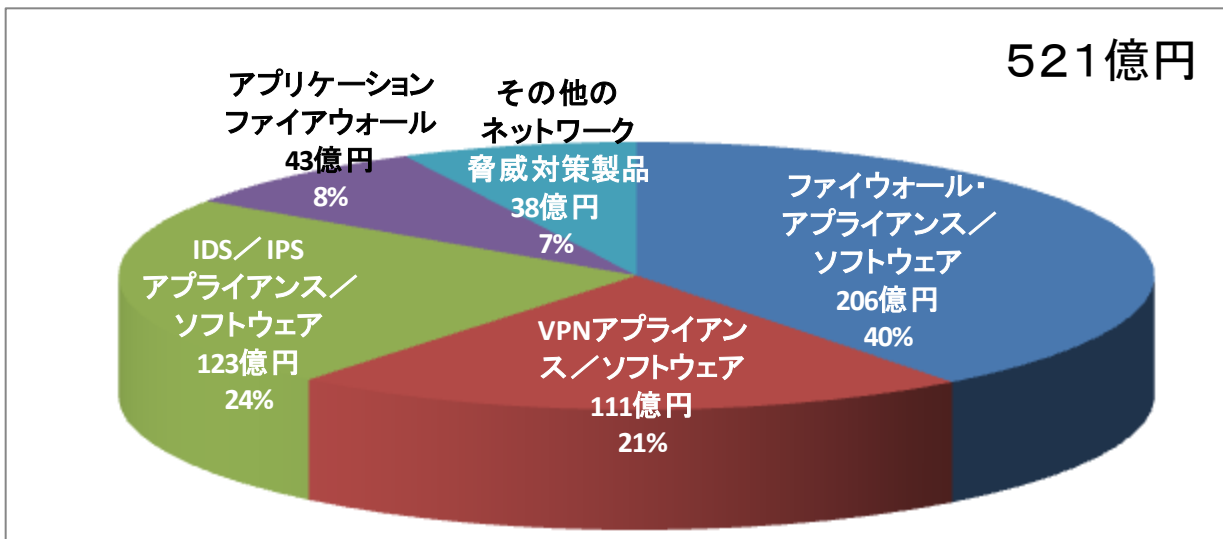
- ツール全体で2011年から5.3%の伸び。
- 伸び率の高かったカテゴリは、システムセキュリティ管理製品とコンテンツセキュリティ対策製品。
- 標的型攻撃や情報流出対策の結果と推測される。



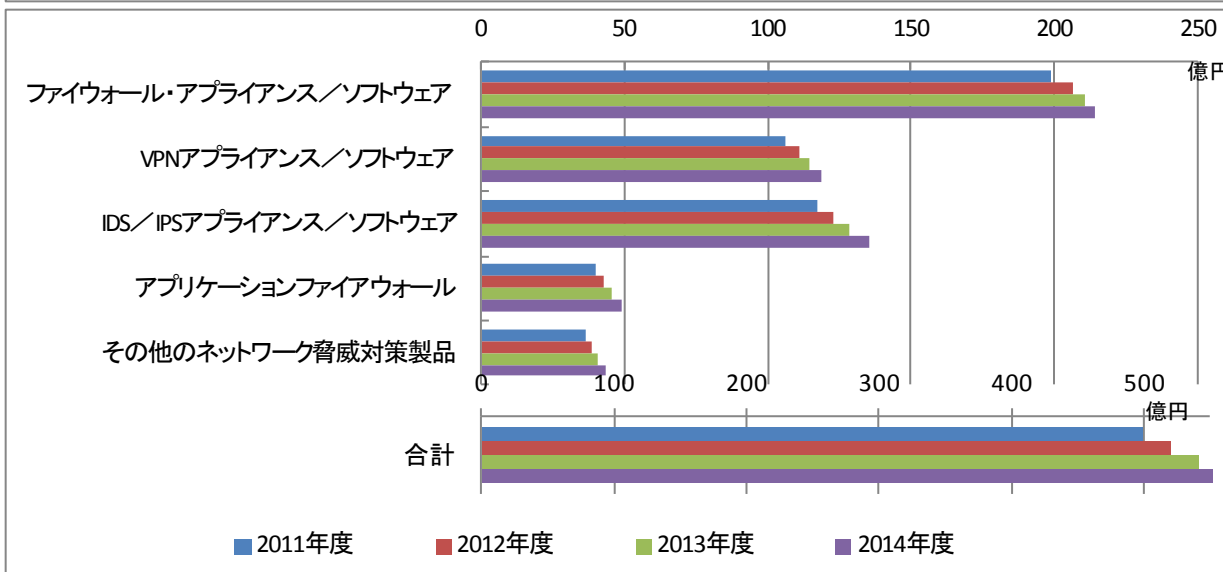


- いわゆるUTM製品が中心となるこのカテゴリは、普及もかなり進み、成熟しつつある市場。
- 標的型攻撃対策でアウトバウンド対策等、より高度化が求められている。
- そのため更新・増強等の需要が見られ、結果的に全体と同じ5%程度の伸びを示している。

速報

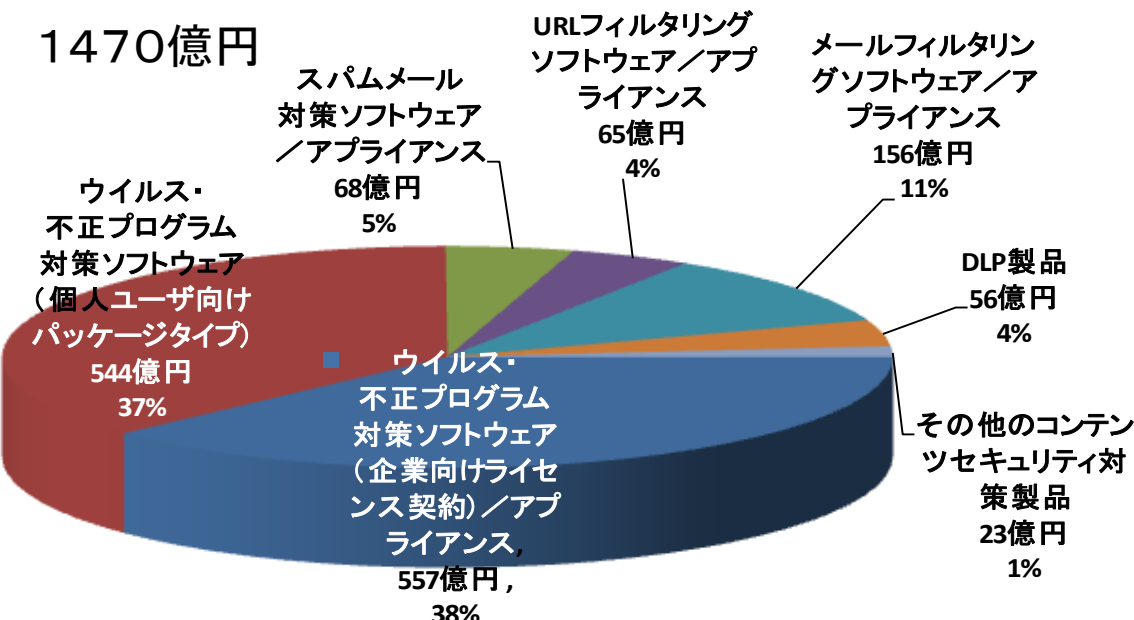


- 2012年度のNW脅威対策製品全体では4.4%伸びて521億円
- IDS/IPS、アプリケーションFWの伸びが堅調。
- スマートデバイスの普及による売上増も視野に入れて調査を続行する。



速報

1470億円

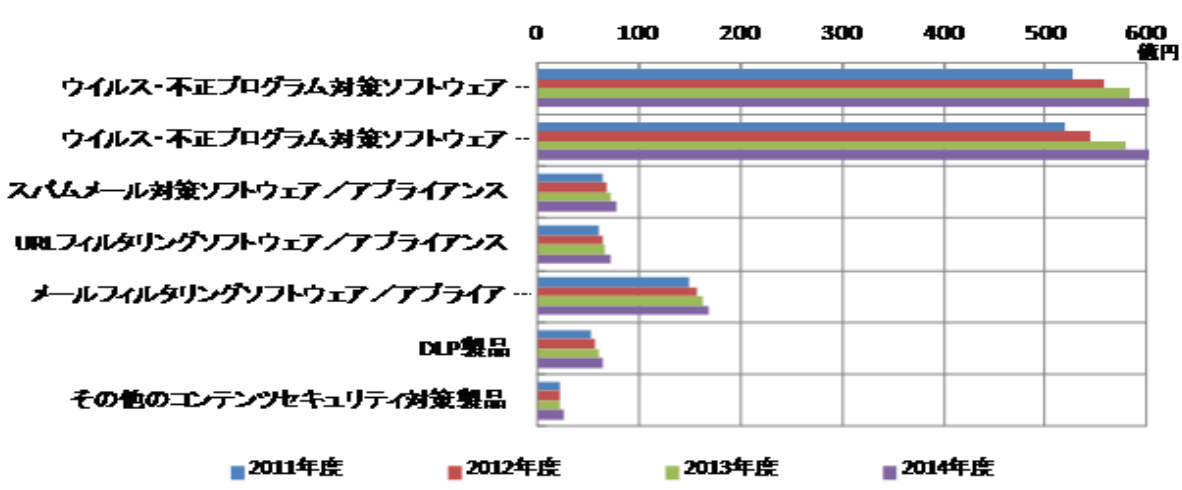


・ウイルス対策ツールは、法人向けと個人向けが各々550億円前後と大きな市場を形成している。

・2012年～2013年度は、PCの更新需要もあり、また未対策だった中小事業所への浸透もあって、成熟市場の割に順調な拡大傾向を示している。

・URLフィルタリング、スパムメール対策、DLPが高い伸び率を示している。

・スマートデバイスの市場の伸びが寄与し、全体として2013,2014年度も高い水準での伸びが期待できる。

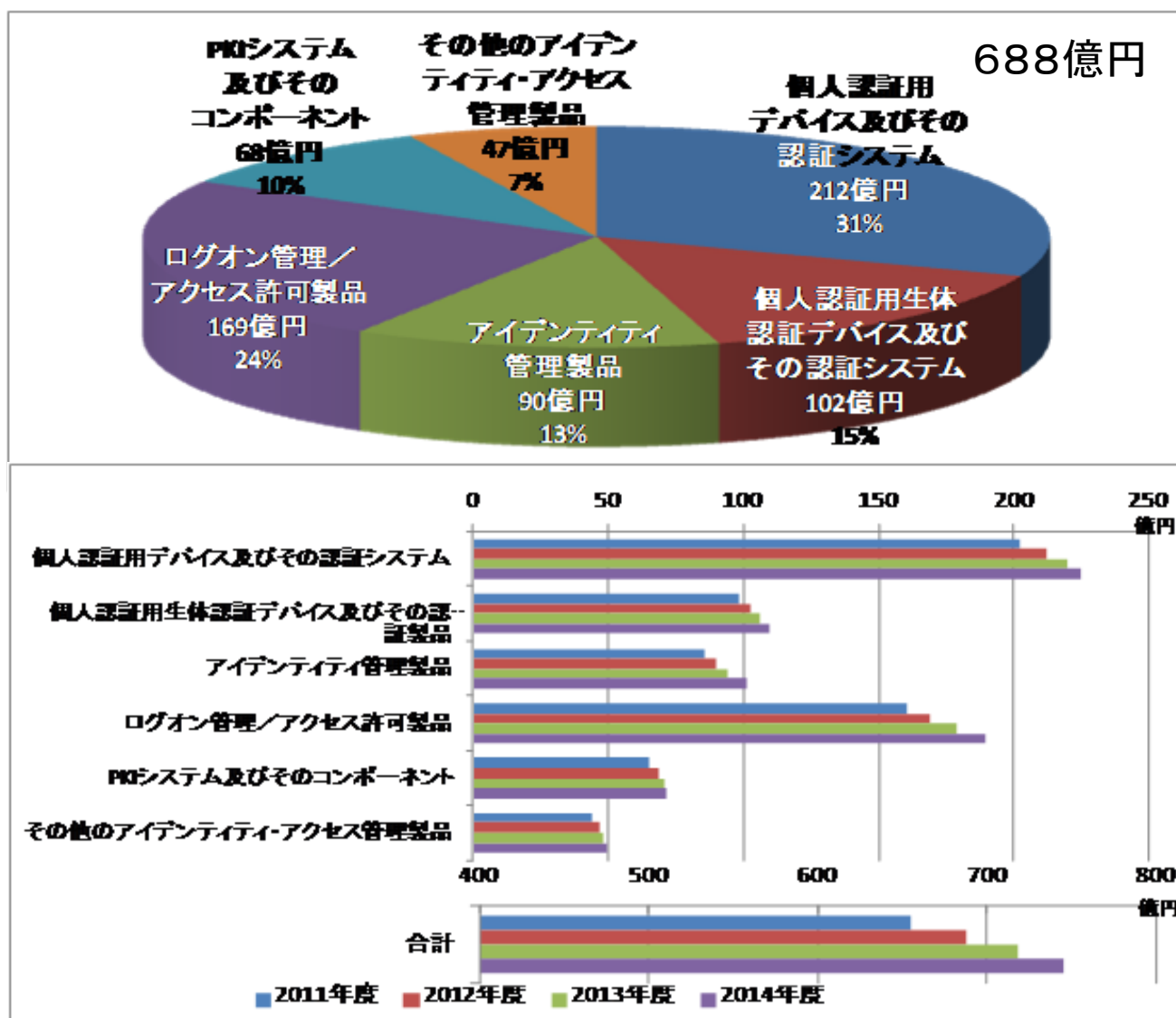


コンテンツセキュリティ対策製品

市場規模 (億円)	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
合計	1,393億円	1,470億円	1,550億円	1,622億円

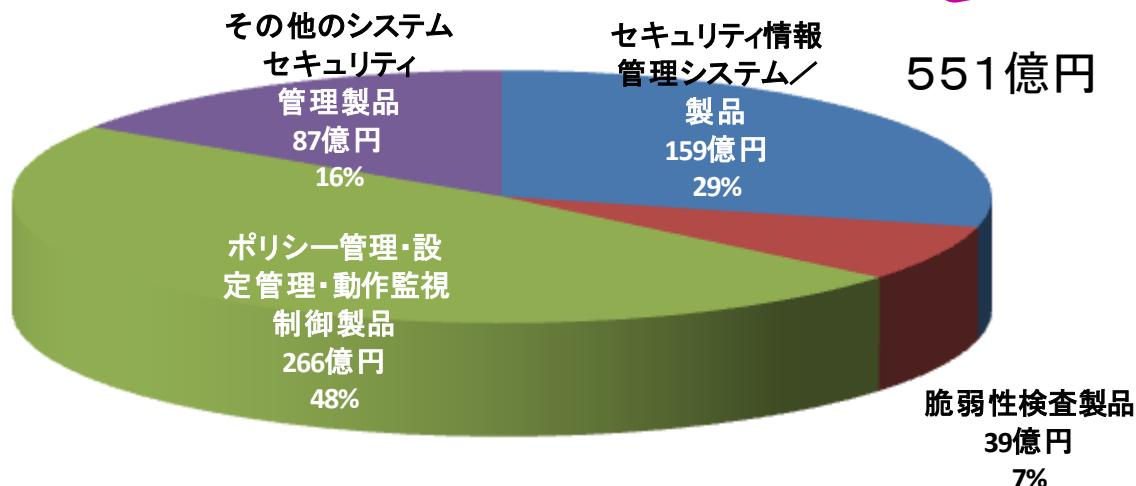
速報

- 標的型攻撃対策で、内部対策の要となるのが、この分野の製品。
- 認証用デバイスと、ログオン管理・アクセス許可製品がその主力。
- 2012年度は全体で5.1%伸びた。
- PKIシステムも堅調な推移。
- クラウドの普及も一役買っている。



システムセキュリティ管理製品

速報

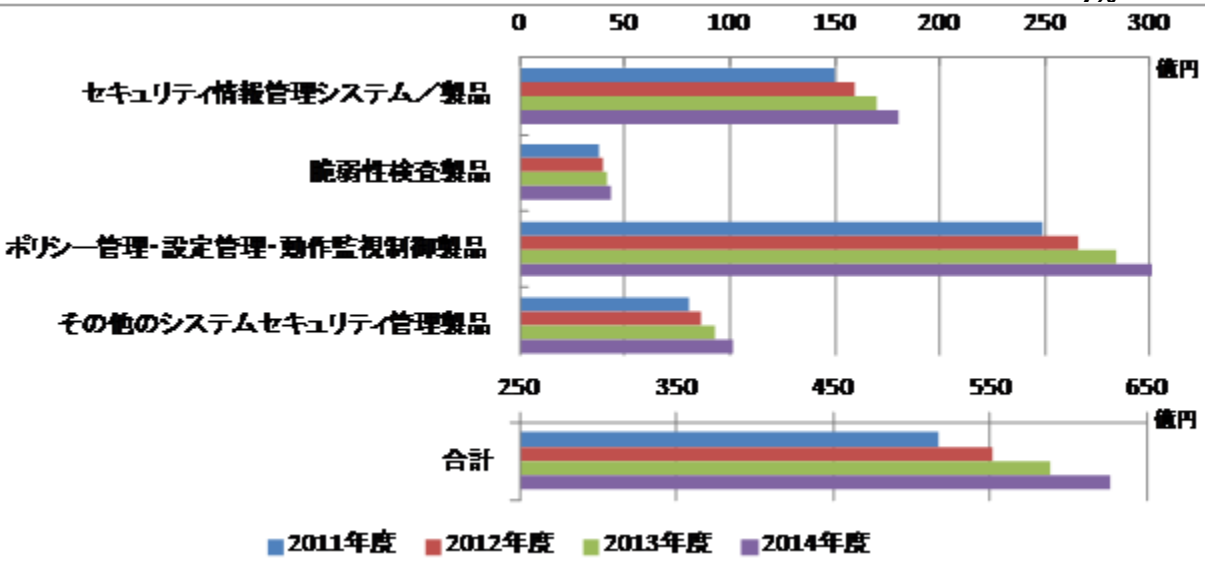


•セキュリティツールの中で6%台の高い伸びを示し、+2012年度は551億円の規模となったと推測する。

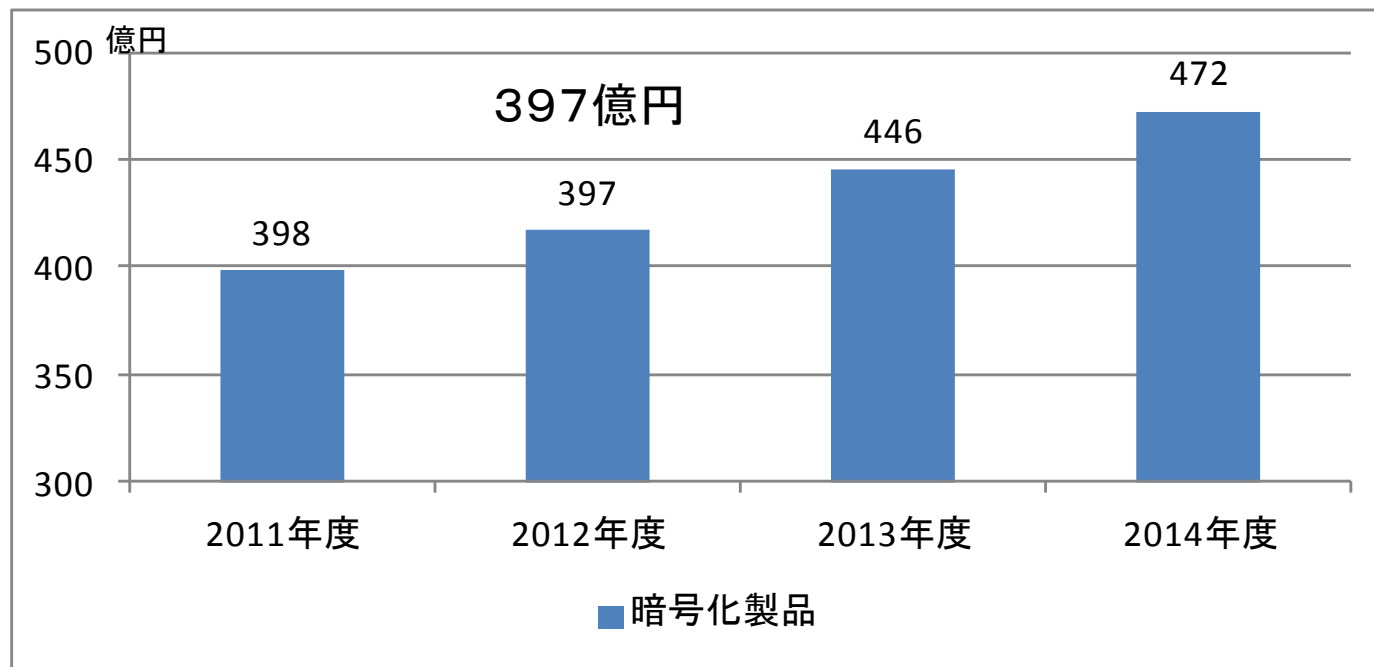
•標的型攻撃対策として、内部ネットワークトラフィックの異常を常時監視する「セキュリティ情報管理システム」の需要が大きい。

•また、端末のポリシーや動作を監視・管理する「ポリシー管理・設定管理・動作監視制御製品」はモバイルデバイス対策もあって需要が拡大している。

•その他に含めているログ解析ツールも需要の伸びは大きい。



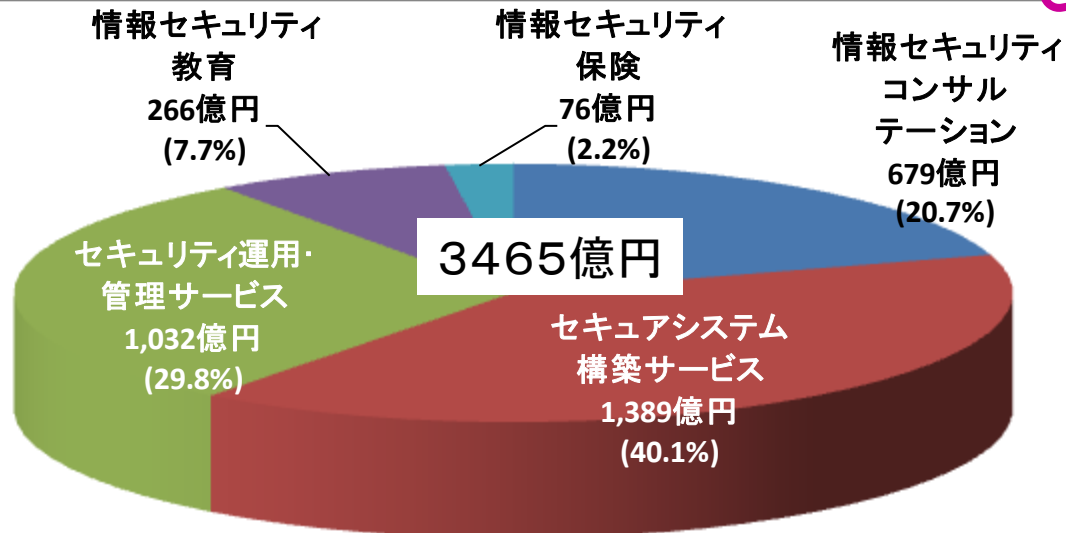
速報



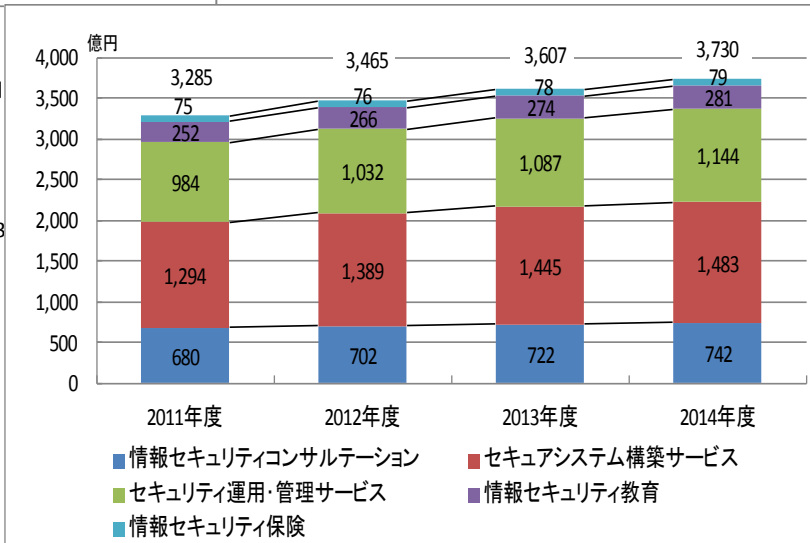
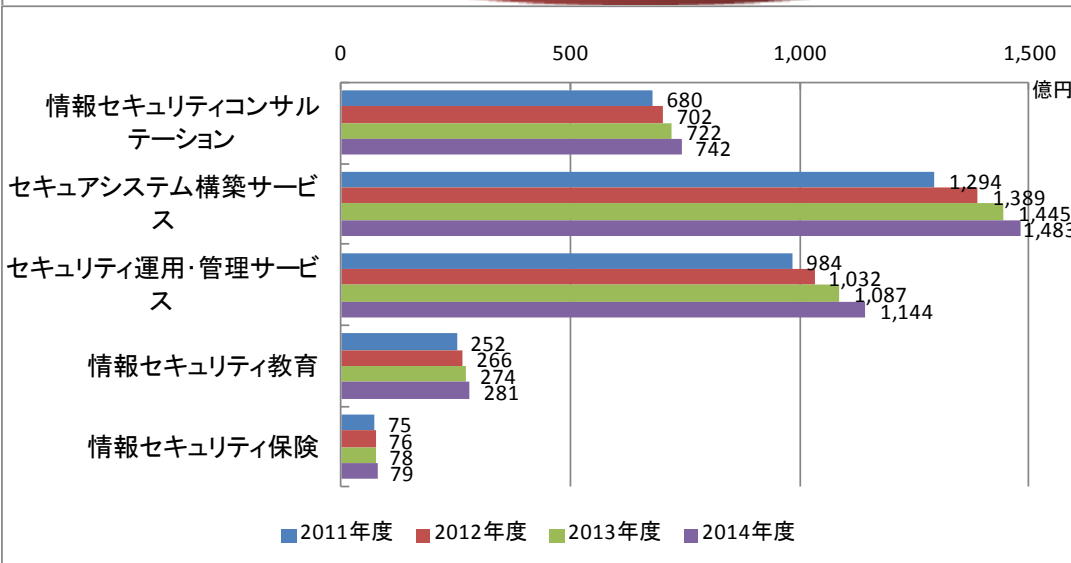
- 2010年度調査から、データ暗号化製品単一分類として調査しているが、情報漏えい対策、知的財産保護対策、標的型攻撃の出口対策として、新たな商品展開や高い需要の伸びが予想される。
- クラウドの利用浸透も需要拡大要因と考えられる。

情報セキュリティサービス市場推移

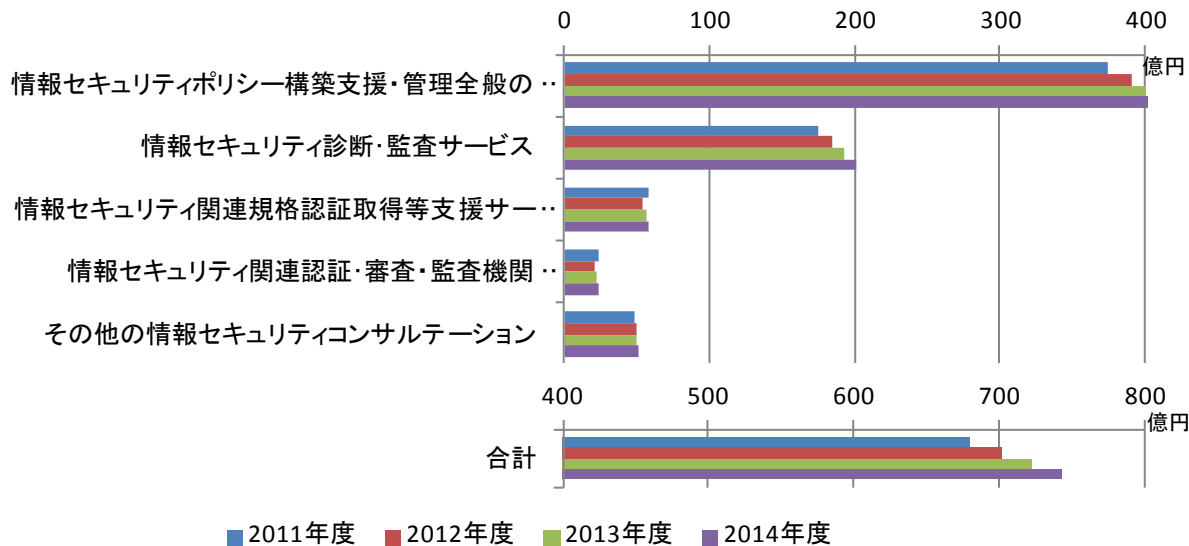
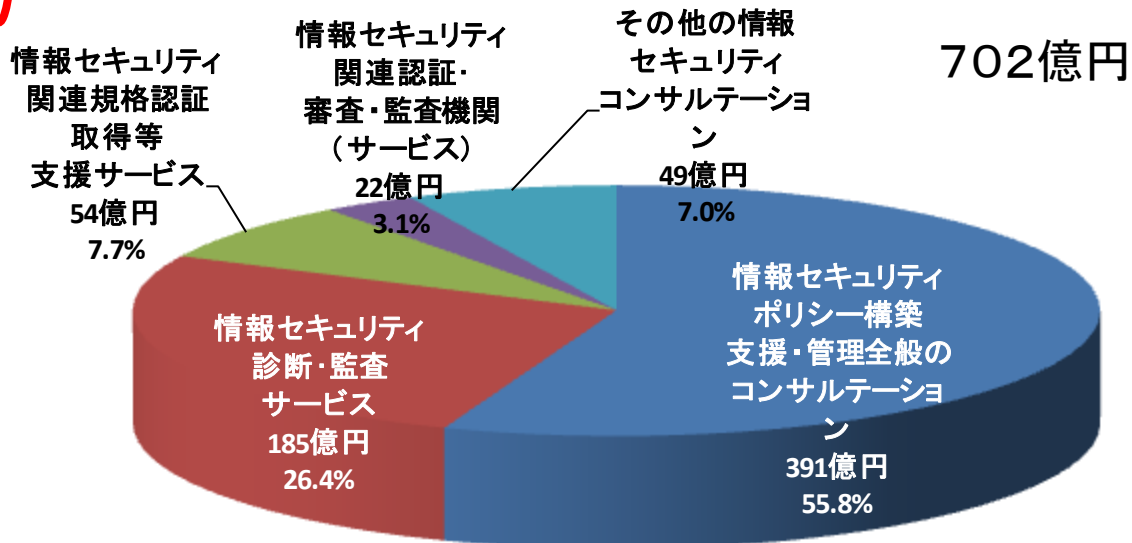
速報



- ・前年比5.5%伸び3465億円
- ・システム構築サービスが最大。標的型攻撃対策などで需要が伸びた。
- ・スマートデバイスを用いた社内システム運用対応した需要、景気・業績回復が後押ししていると思われる。



速報

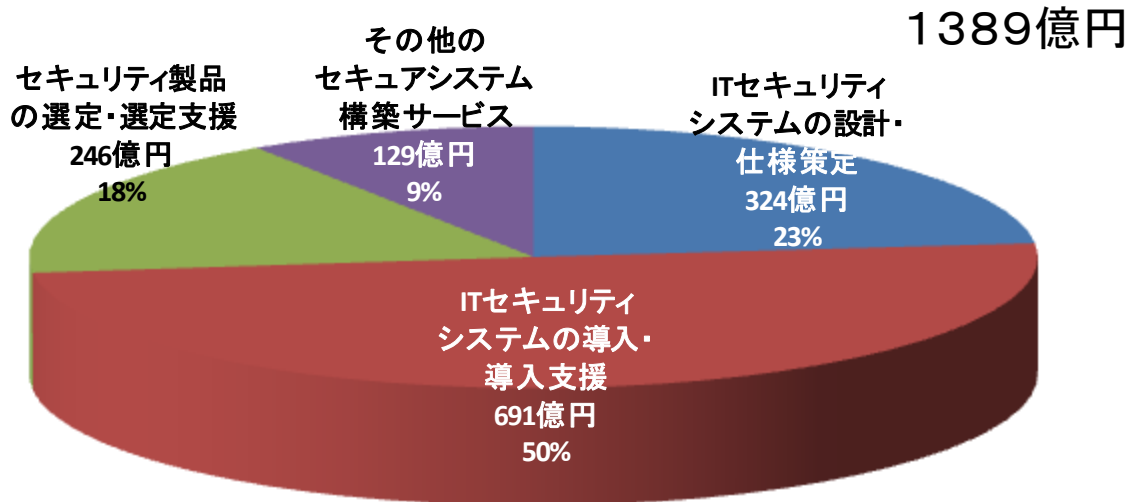


・コンサルテーションと診断サービスが回復し、全体で3.2%前年より22億円増えて700億円の
大台乗せ。

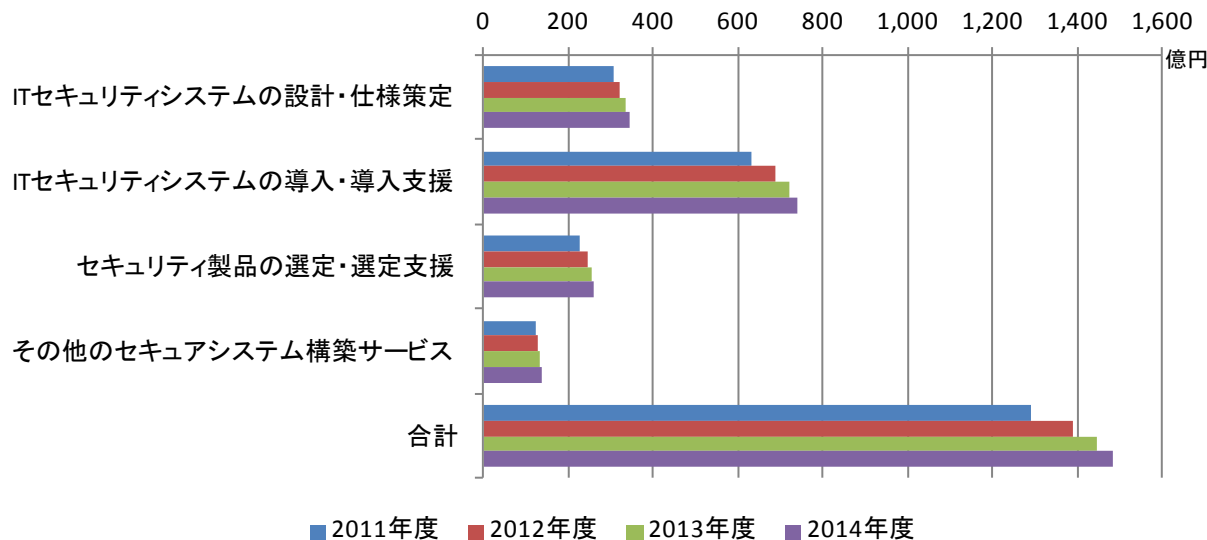
・ただし、情報セキュリティ関連規格認証取得等支援サービスが2011年度比マイナス6.8%、情報セキュリティ関連認証・審査・監査機関(サービス)がマイナス7.5%とISMS取得の一巡により停滞。2012年が底と見られる。

・セキュリティ対策の総合的再構築のための診断やコンサル需要は堅調。

速報

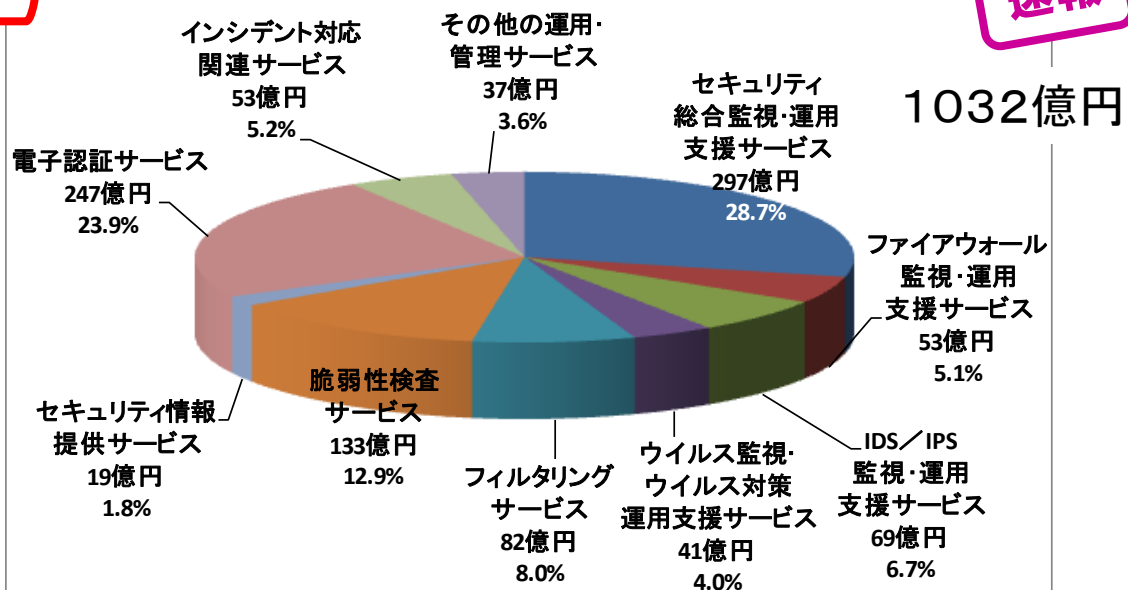


- 全体で1500億円近い大市場だった(2008)ものが、1200億円強の規模まで縮小。
- 2012年度は全体で7.3%の高い成長で1389億円まで回復。
- 2014年度でほぼ1,483億円となりV字回復を遂げる予想。



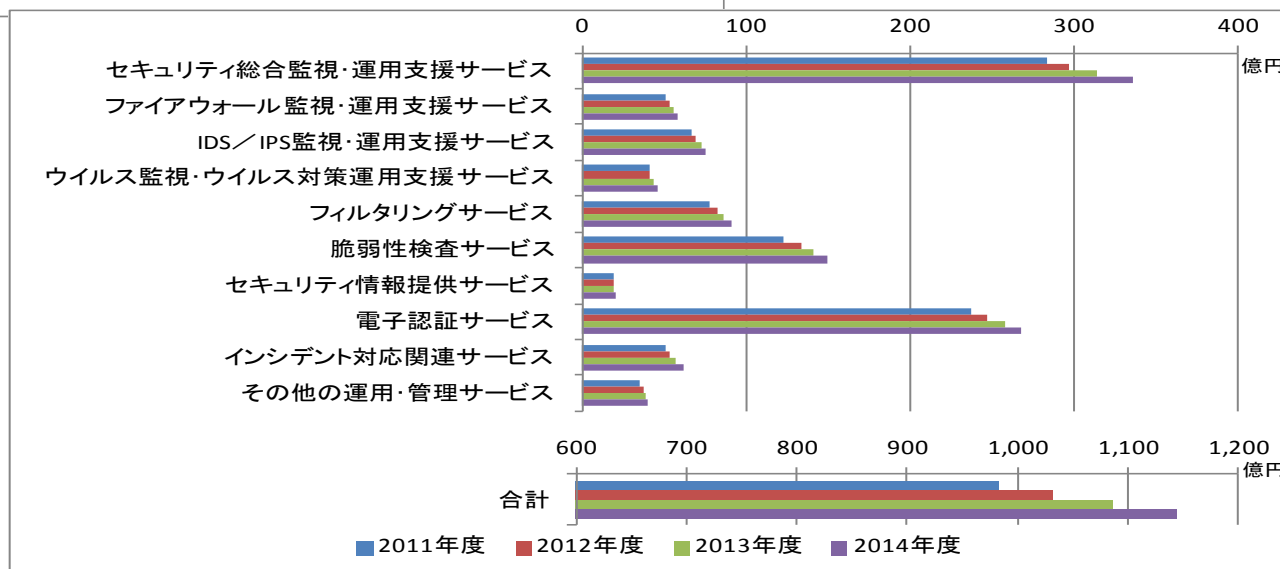
- これは、セキュリティ対策の総合的再構築需要が後押しした結果。
- 今後はサイバー脅威対策、スマートデバイスやクラウド環境でのセキュリティSI需要が生まれ回復を後押しする？

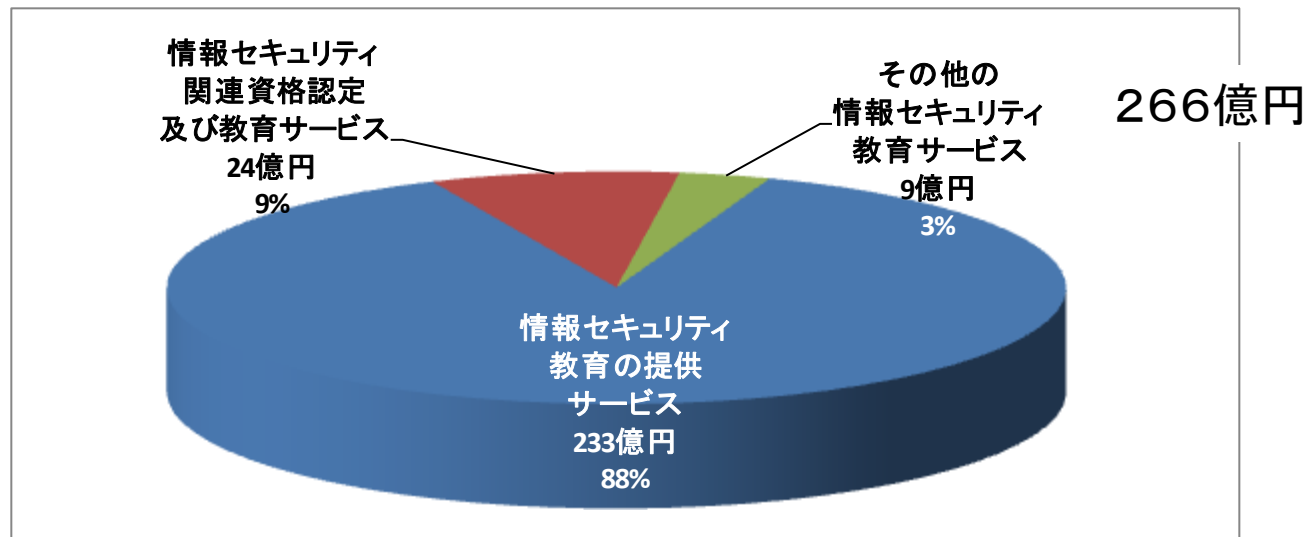
速報



・専門サービスへのアウトソース化の流れで、全体で1000億円を超える大市場に成長した。

・総合監視・運用支援～フィルタリングまでのマネージドサービスが約5割、残りを脆弱性検査などのプロフェッショナルサービスと電子認証サービスが半分ずつ占める。

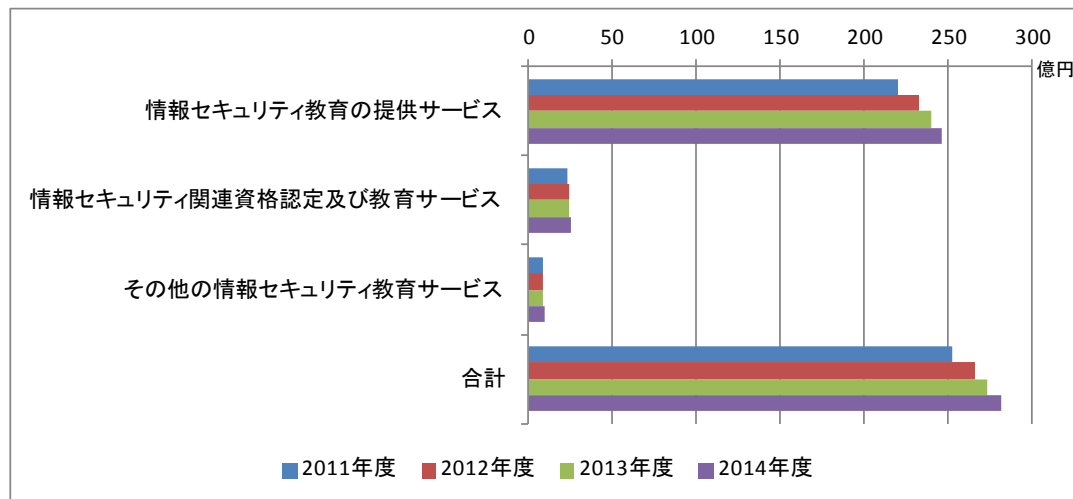


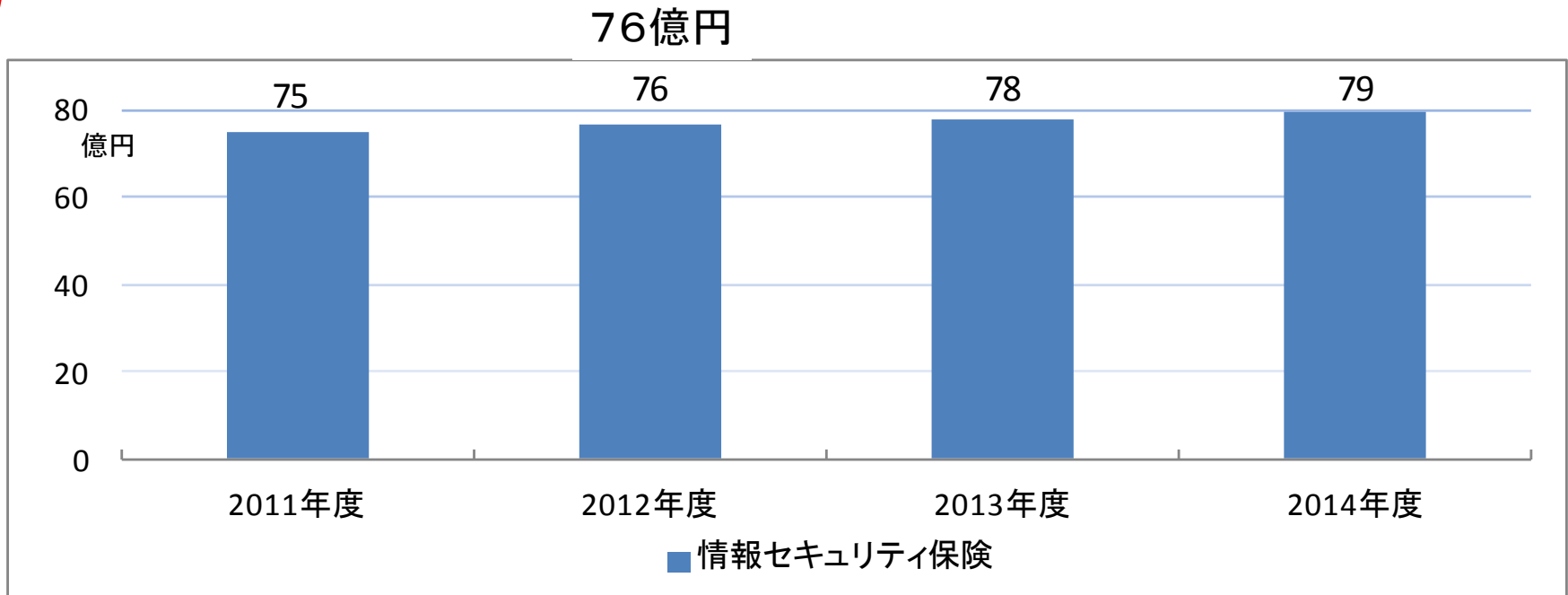


・2010年度を底に回復基調。

・情報漏洩対策、標的型攻撃対策、スマートデバイス・BYOD対策、異業種の交流など、セキュリティに関する教育の需要が拡大。

・政府が情報セキュリティ人材育成に注力したことも追い風になるか。





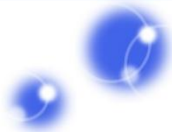
- 情報セキュリティ保険は、ほぼ80億円手前で市場規模が安定していると思われる。
- 今後、保険会社における新たな保険商品やサービスが出てこない限り、この規模で推移すると思われる。

・2013年度セキュリティ10大ニュース（JNSA発表：項目抜粋）

- ビッグデータの利活用には疑問・不安の解消が不可欠
- サイバーテロ攻撃
- Windows XPサポート終了への対応遅れ 試されるセキュリティマネジメント
- 高度化する標的型攻撃、日本向け攻撃
- アカウントリスト型ハッキング
- Webサイト改ざんの多発
- ネット選挙～成りすまし対策～
- 国家権力による盗聴
- バカッター問題
- インターネットバンキング不正送金被害

・スマートデバイスのセキュリティ事情

- スマートフォンを狙った標的型攻撃
- Apple IDを狙ったフィッシング詐欺の急増



JNSA

2014年1月29日
JNSA2013年度
セキュリティ市場調査速報

<http://www.jnsa.org>
sec@jnsa.org

END